

とろろこんぶシステム工房

承認はんこ Ver4.7.4.9

ユーザーズガイド

2006/09/26

とろろこんぶ

電子印鑑

目次

	ページ
1. はじめに	2
1-1. 動作環境	2
1-2. 印影ファイルとライセンス	3
2. インストール	4
2-1. インストールの準備	4
2-2. インストール	4
2-2-1. スタンドアロン構成のインストール	4
2-2-2. インデックスファイルパスの設定	6
2-2-3. インデックスファイルをサーバ共有する場合	7
2-3. インストールされるファイルとフォルダー	8
2-4. Excel/Word ツールバー	8
実習 1 インストール	9
2-5. アンインストール	10
3. 押印	12
3-1. 承認はんこオブジェクトの挿入	12
3-2. 押印ダイアログ	13
実習 2 押印	16
4. 押印情報の確認	17
実習 3 押印情報の確認	18
5. インデックスファイル shnindex.dat	19
6. 承認印の登録、削除、修正	20
6-1. 承認はんこマネージャ(shankmgr.exe) の起動	20
6-2. 承認印の追加	20
6-3. 承認印の削除	21
6-4. 承認印の修正	21
実習 4 自分の名前の登録	22
7. 印影ファイルのチェック	24
8. パスワードの変更	25
実習 6 パスワードの変更	26
9. プロファイルについて	27
10. ログの出力	29
11. 未押印オブジェクト	30
12. 自動押印	31
12-1. 自動押印の設定	31
12-2. 自動押印の解除	31
13. 押印ダイアログの承認はんこ選択リストの順番	32
Appendix A 印影データフォルダーのセキュリティー設定	33

このマニュアルはとろろこんぶ電子印鑑「承認はんこ」のインストール方法及び操作方法を記述したユーザーズガイドです。基本的な操作を習得いただけるチュートリアルマニュアルも参照ください。なお、**青字部分は今回のバージョンアップで追記した部分です。**

1.はじめに

このソフトウェアは電子的に印鑑を押印し、パソコン上で電子的に決済を可能にするソフトウェアです。



このソフトウェアではOLEというテクノロジーを使って、はんこオブジェクトをデータに埋め込みます。例えば、ワードや一太郎などのOLE対応のワープロソフトには、オブジェクトの挿入という機能が用意されていますが、それを使って承認印のオブジェクトを文書中に埋め込むことができます。

ただし、押印の際にはパスワードを入力しなければなりません。このパスワード機能によってパスワードを知っている人しか押印できないようになっており、電子承認が可能になるわけです。押印時には承認者名、日付、承認者の所属、承認項目（文書番号）などがオブジェクトに埋め込まれます。また、承認履歴がログファイルに吐き出されますので、文書の承認履歴管理が可能になります。

1-1. 動作環境

このソフトウェアは次のOS上で動作します。

- Windows Vista (RC1)
- Windows2000
- WindowsXP
- Windows98 SE
- Internet Explorer 5.0 以降が組み込まれた Windows98

注意) Windows 98 でも動作しますが、リソースメモリーが不足するなど動作不安定になることがあります。Windows 98 での使用はお勧め出来ません。
Windows95 では動作しませんのでご注意ください。

1-2. 印影ファイルとライセンス

承認はんこを用いるには印影ファイルが必要になります。印影ファイルには印影イメージ情報が保持されています。また、印影ファイルには押印期限が設定されており、この期限を過ぎると押印できなくなります。

印影ファイルは2006年9月現在1800姓用意されており、増えつつあります。印影ファイルのリストは

http://homepage3.nifty.com/tororokonbu/shanko_hanfile_list.html

をご確認ください。

基本ライセンス(企業向け)

企業内で用いる場合は基本ライセンスをご購入ください。

企業向けの基本ライセンスをご購入いただいたユーザ様は印影ファイルを作成することができます。印影変換ツール bmp2han.exe を利用することができます。また、押印期限制限なしの1800姓分の印影ファイルも利用できるようになります。

パーソナルライセンス(個人向け)

パーソナルライセンスをご購入いただけますと印影ファイルを1つお送りいたします。お送りする印影ファイルには押印期限はありませんが、ユーザサイドで修正をすることは出来ません。

パーソナルライセンスをご購入ください。

企業内で用いる場合は基本ライセンスのご購入をお勧めいたします。

体験使用

体験用の印影ファイルが用意されています。次の URL からダウンロードしてください。

http://homepage3.nifty.com/tororokonbu/shanko_hanfile_list.html

なお、体験用の印影ファイルには押印期限が設定されています。

ライセンスについて詳しくは

http://homepage3.nifty.com/tororokonbu/hanko_price.html

を参照ください。

ライセンスが無くても体験使用は可能ですので、次のインストールへ進んでください。

2 インストール

2-1. インストールの準備

インターネット上からダウンロードなどして入手した場合はファイル名が shanko****.exe あるいは shanko****.lzh, shanko****.zip になっております。いずれも圧縮ファイルですので解凍する必要があります。

shanko****.exe の場合は自己解凍ファイルですので、このファイルをダブルクリックするなどして起動すれば解凍することが出来ます。shanko****.lzh, shanko****.zip の場合は解凍ツールを用いて解凍してください。

解凍によって インストーラ setup.exe が生成されます。

注意 承認はんこが既にインストールされている場合は承認はんこインデックスファイル (shnindex.dat) やプロファイルをバックアップしておいてください。セットアップウィザードがこれらのファイルを上書きする場合があります。上書きされると 登録済みの承認印やプロファイルが削除されますので注意して下さい。

2-2. インストール

2-2-1. インストール

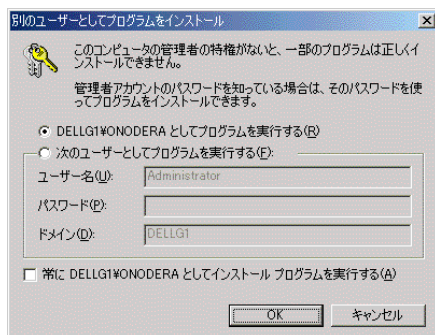


図 2-1 管理権限をもたないユーザーでインストールしようとする、このメッセージボックスが表示される場合があります。OK ボタンをクリックし、インストールを続ける。

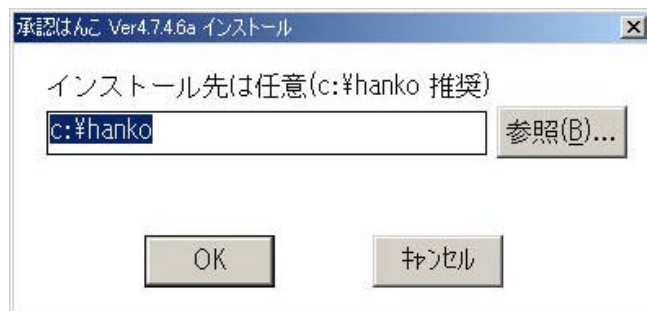


図 2-2 インストーラが起動するとインストール先を聞いてくる。通常はデフォルトのままで問題ない。

インストールは自己解凍モジュール setup.exe を実行すると自動的に行われます。

手順 0) 管理権限のあるユーザ (Administrator/PowerUser) で Windows にログインしてください。

手順 1) 自己解凍モジュール setup.exe を実行します。

参考 1) Windows2000 の Power ユーザでインストールする場合、警告ダイアログが表示されるかもしれません。ボタン「OK」をクリックして先に進みます。(図 2-1)

参考 2) WindowsXP の制限ユーザでインストールを開始した場合、図 2.1の警告ダイアログが表示されます。制限ユーザではインストールできませんので「次のユーザとしてプログラムを実行する」を選択し、管理権限のあるユーザで実行してください。

参考 3) Windows Vista の場合、不明なプログラムがお使いのコンピュータへのアクセスを要求しています。」と表示されます。許可(A)」を選択してください。



手順 2) インストール先を聞いてきますのでインストール先を設定します。(図 2-2)

インストール先のデフォルト値は c:\hanko ですが、任意に変更できます。

注意 承認はんこが既にインストールされている場合はインデックスファイル (shnindex.dat) を上書きするか聞いてきますので上書きしないようにします。
上書きすると登録済みの承認印が削除されますので注意して下さい。

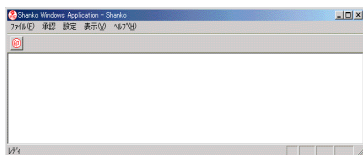


図 2-3. 承認はんこが起動する。

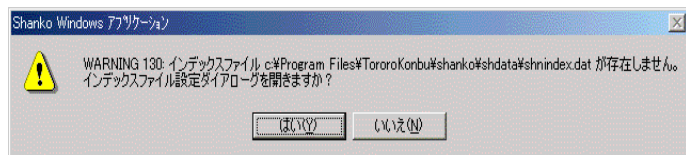


図 2-4. インデックスファイルが見つからない場合は警告が表示される。

インストール実行後、自動的に承認はんこの実行モジュール shanko.exe が起動します。(図 2-3) この起動は必要な情報をレジストリに書きこむためです。

注意) Windows Vista(RC1) の場合、shanko.exe を実行してもレジストへの書き込みは実行されないようです。再インストールの際は setup.exe を実行してください。なお、WindowsXP 以前の Windows では shanko.exe を実行しただけに必要な情報がレジストに書き込まれました。

手順 3) メニュー「ファイル」->「終了」を選び終了させます。
以上でインストールは終了です。

注意) Windows Vista(RC1) の場合、インストール終了後、「このプログラムは正しくインストールされなかった可能性があります。」と表示されます。「このプログラムは正しくインストールされました。」を選択します。

参考)インストールが終了すると、インデックスファイルパス、言語が パーソナルドキュメントフォルダ下の hanko.ini に書き込まれます。パーソナルドキュメントフォルダの場所は次の通りです。

WindowsXP	C:\Documents and Settings\ユーザ名\My Documents\hanko.ini
Windows2000	C:\Documents and Settings\ユーザ名\My Documents\hanko.ini
Windows98	c:\My Documents\hanko.ini

hanko.ini の例

```
[MAIN]
ShankoIndexFile=C:\hanko\shdata\shnindex.dat
```

何らかの理由で hanko.ini 注の ShankoDataFile に設定されているインデックスファイルが存在しない場合は、次の警告メッセージが表示されます。(図 2-4)

この警告が表示された場合はボタン「はい」をクリックし、「2-2-2. インデックスファイルパ

スの設定」に従ってインデックスデータファイルパスを設定してください。

2-2-2. インデックスファイルパスの設定

承認はんこはインデックスファイル(デフォルトファイル名 shnindex.dat)をデフォルトでは承認はんこインストールフォルダー(デフォルトでは c:\%hanko)下のフォルダー shdata 下の shnindex.dat を探しに行きます。このファイルが見つからない場合は警告メッセージ Warning 130 が表示されます。(図 2.4)

「設定ダイアログを開きますか」という問いに対して[はい]を選択します。図 2-5 のように、ファイル名設定ダイアログが開きますので、インデックスファイル(shnindex.dat)へのパスを設定します。

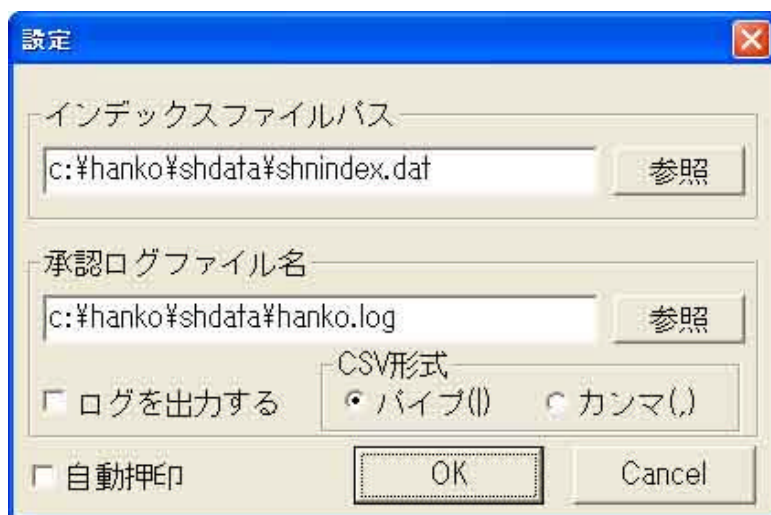


図 2-5. インデックスファイルパスの設定

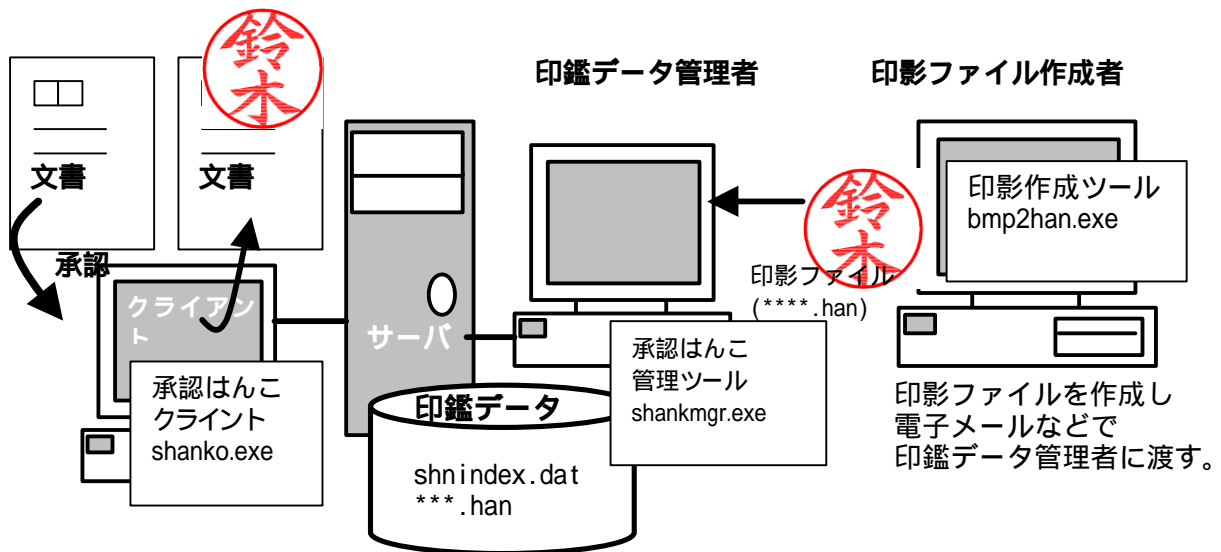
OK ボタンをクリックし、起動していた Shankoin.exe を終了させます。メニュー「ファイル」->「終了」あるいは[File]->[End]で終了します。

これでインストールは完了です。

ノートインデックスファイル(デフォルトファイル名 shnindex.dat)は、基本的にはどこに置いておかまいません。サーバに集中させてもいいし、ネットワーク上に分散させてもかまいません。フロッピーディスクや USB フラッシュに保っていてもかまいません。押印時にアクセスさえできれば、どこに置いておかまいません。

2-2-3. 印影データをサーバで集中管理する場合

サーバーを利用してインデックスファイル及び印影データを集中管理することができます。ユーザの数が多い場合はサーバ上にインデックスファイルと印影データを置き、各パソコンからはこのサーバ上のインデックスファイルを参照に行くという構成をお勧めいたします。



手順1) ファイルサーバ上に共有フォルダーを用意します。

手順2) 承認はんこをインストールしたフォルダ下のフォルダshdataを丸ごと手順1で作成した共有フォルダーにコピーします。



図3-1 承認はんこ管理ツール

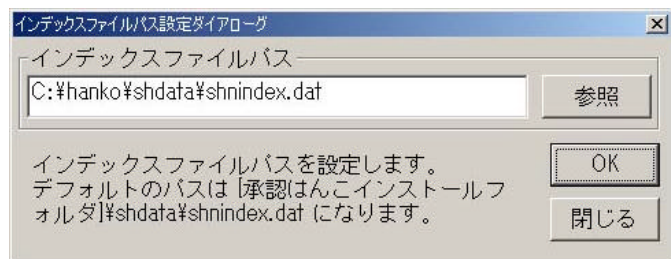


図3-2 インデックスファイルパス設定ダイアログ

手順3) サーバ上でインデックスファイルパス設定を行います。
承認はんこ 管理ツール shankmgr.exe を起動し、ボタン「設定」をクリックし、インデックスファイルパスの設定を行います。

手順4) 承認はんこモジュール shanko.exe を各クライアントパソコンにコピーします。コピー先のフォルダーは任意です。

手順5) 承認はんこクライアントモジュールshanko.exe を起動し、メニュー「設定」->「ファイル設定」を起動し、サーバの共有フォルダにあるインデックスファイルのパス設定を行ってください。

1つのインデックスファイルしか用いないと登録した全員が表示されてしまいます。ユーザ数が多い場合はインデックスファイルの分割をお勧めいたします。インデックスファイル名およびそのフォルダー名は任意に変更できます。

インデックスファイルパスの設定情報はウインドウズディレクトリ下のhanko.ini に保存されます。

パソコンの台数が多い場合はこのファイル hanko.ini を他のクライアントパソコンにコピーしてしまうというてっとり早い方法もあります。

2-3. インストールされるファイルとフォルダー

自己解凍により解凍生成されるファイルを下表に示します。

ファイル名	説明
shanko.exe	承認はんこの実行モジュール
shankmgr.exe	承認はんこ管理ツール
shnindex.dat	印影インデックスファイル (tutorial 用サンプル)
*.han	印影ファイルサンプル
tkprf_han_***.xml	プロファイル (パラメータが入っています。)

フォルダ名	説明
sh_data	サンプルのインデックスファイル、印影ファイルが入っています。

2-4. Excel/Word ツールバー

承認はんこを便利に使う Excel/Word/PowerPoint ツールバーが用意されています。下記ホームページからダウンロードしてご利用ください。

ワードツールバー

http://homepage3.nifty.com/tororokonbu/hanko_wordtoolbar.html

エクセルツールバー

http://homepage3.nifty.com/tororokonbu/hanko_exceltoolbar.html

パワーポイントツールバー

http://homepage3.nifty.com/tororokonbu/hanko_ppttoolbar.html





実習 1

実習 1-1. 承認はんこのインストール

「承認はんこ」をインストールしてください。

実習 1-2.. サンプル承認印

承認はんこ Ver4.7.4.7 に添付されているインデックスファイル shindex.dat に初期登録されている承認印は次のとおりです。以後、このサンプルを用いて実習を進めていきます。

承認印名	イメージ	パスワード	印影ファイル名	プロファイル
鈴木		TEST	00195.han	Tkprf_han_default.xml
鈴木(犬足跡)		TEST	dogSuzuki.han	Tkprf_han_default.xml
鈴木(犬承認印)		TEST	dogSuzukiDate.han	Tkprf_han_default.xml
社外秘		TEST	社外秘.han	tkprf_han_default.xml

2-5 アンインストール

レジストリから「承認はんこ」を削除します。

レジストリに「承認はんこ」が残っていると、WORD/EXCELなどでオブジェクト挿入を行う際に表示されるオブジェクトリストに「承認はんこ2」が表示されてしまいます。

気になるようでしたら下記の手順でレジストリから承認はんこに関する情報を削除してください。

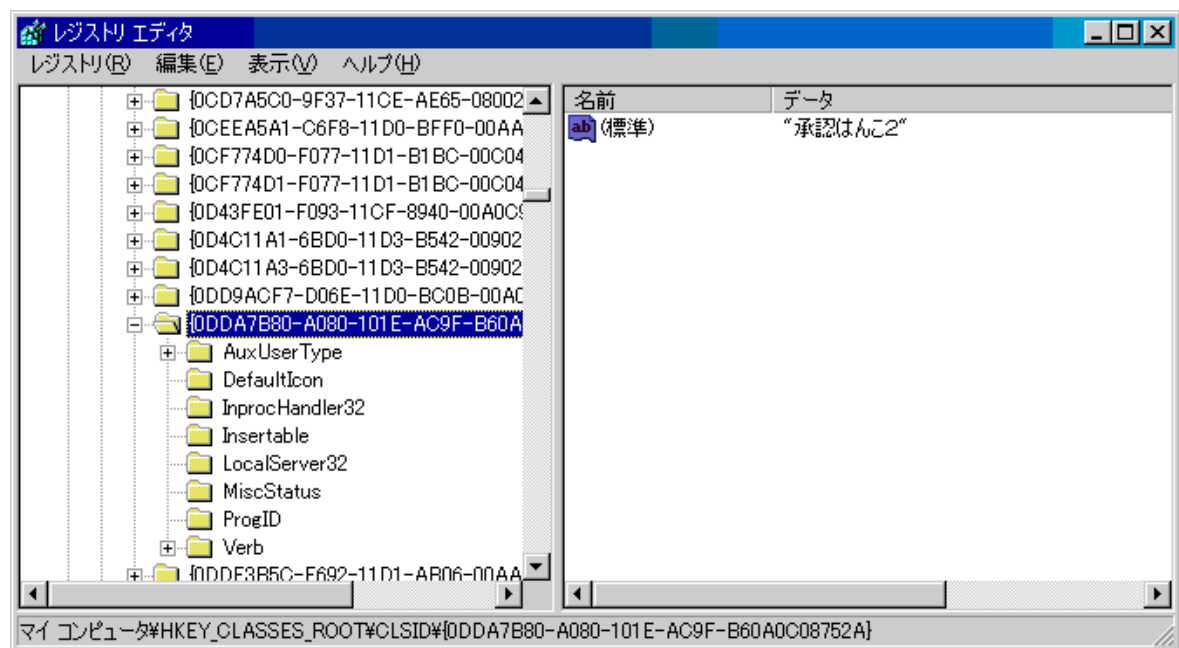
2-5-1. レジストリからの削除

手順1) レジストリエディタ(regedit.exe)を起動します。

管理権限のあるユーザで Windows にログインします。制限ユーザではレジストリの操作は行えませんのでエラーとなります。

スタートボタン -> 「ファイル名を指定して実行」を選択し、regedit と入力し、OK ボタンをクリックします。

レジストリエディタが起動されます。



ノート) レジストリを破壊すると、Windows が起動できなくなるなど、重大な影響があることがあります。レジストリの操作は初心者の方にはお勧めできません。はんこがレジストリに登録されたままでも、問題ありませんので、レジストリについてはそのままにしておくことをお勧めいたします。

手順2. 削除するオブジェクトの検索

「承認はんこ2」を検索します。

メニュー「編集」->「検索」を選択します。

検索ダイアログが開きますので、検索する値として「承認はんこ2」を入力します。

上の図のように `HKEY_CLASSES_ROOT\CLSID\{0DDA7B80-A080-101E-AC9F-B60A0C08752A}` が検索されるはずです。

手順3) 削除

`0DDA7B80-A080-101E-AC9F-B60A0C08752A` を選択し、マウス右クリックで削除をクリックします。

ここで、もし「キーの削除エラー」となるようでしたら、管理権限の無いユーザで Windows にログインしている可能性があります。管理権限のあるユーザで Windows にログインしなおしてください。

「このキーとそのサブキーをすべて削除しますか？」というダイアログが表示されますので、ボタン「はい」をクリックします。

手順4) HKEY_CLASS_ROOT¥Shank.Document の削除

検索操作をもう一度行います。

メニュー「編集」->「次を検索」を選択します。この検索には数分かかるかもしれません。Shank.Document が検索されるはずですが、手順3と同様の方法で削除してください。

手順5) レジストリエディタを閉じてください。

メニュー「ファイル」->「レジストリエディタの終了」

2-5-2. ファイルの削除

承認はんこに関わるファイルをインストール先(デフォルトでは c:¥hanko)のフォルダごと削除してください。

以上でアンインストールは完了です。

3.押印

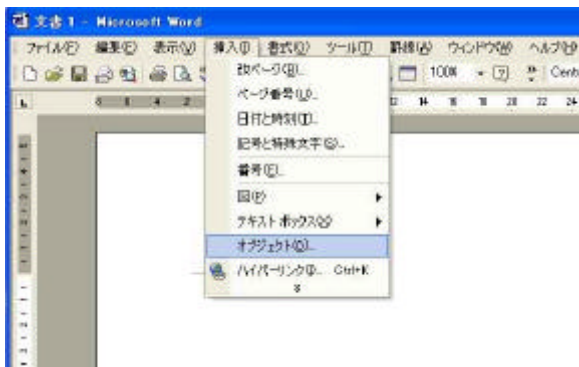


図 3-1 OLE 対応アプリケーションにはオブジェクトの挿入メニューがある。

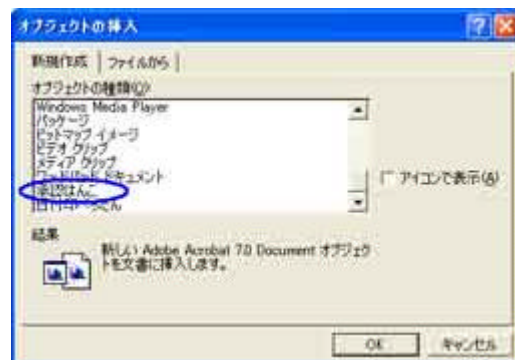


図 3-2 オブジェクトの挿入ダイアログから「承認はんこ」を選択する。

3-1. 承認はんこオブジェクトの挿入

MS-Word や MS-Excel など OLE 対応アプリケーションには OLE オブジェクトの挿入機能があります。電子印鑑「承認はんこ」はこの OLE オブジェクトとして挿入されます。

MS-Word の場合の「承認はんこ」オブジェクトの挿入操作手順は次のようになります。MS-Excel など他の OLE 対応アプリケーションでも操作は殆ど同じです。

手順 1) MS-Word など OLE 対応アプリケーションの文書が開いた状態にします。

手順 2) メニュー「挿入」->「オブジェクト」を選択します。(図 3-1)

手順 3) 「オブジェクトの種類」リストボックスから「承認はんこ」を選び、OK ボタンをクリックします。(図 3-2)

「承認はんこオブジェクト」が挿入されます。(図 3-3)



図 3-3 承認はんこオブジェクトが挿入され、アクティブとなっている。メニューが承認はんこのメニューに入れ変わっている。

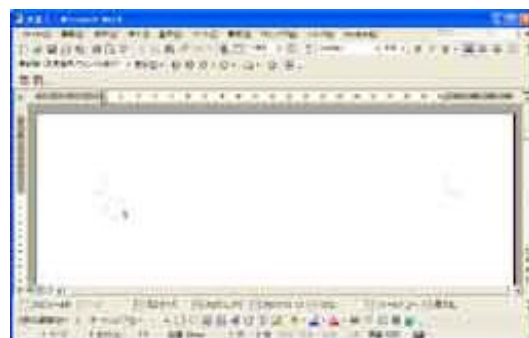



図 3-4 オブジェクト以外の部分をクリックすればオブジェクトがアクティブな状態は解除され、メニューは MS-Word のメニューに戻る。承認印の印影は未押印のため破線になっている。

3-2. 押印ダイアログ

「承認はんこ」オブジェクトがアクティブな状態ではメニュー及びツールバーは承認はんこにメニュー/ツールバーに入れ替わっています。

メニュー「承認」->「承認押印」を選択するか、ボタン  をクリックすることにより押印ダイアログが表示します。



承認ダイアログ

承認はんこ選択

承認情報

文書番号 ISO9001-003 ⑤

承認者名 鈴木健一

所属 情報システム部

承認日 2006年5月5日(金) 12時22分

承認項目(コメント) テストです。

日付表示

06.5.5

② なし ②

③ 下に表示

③ 中央(日付印)

YY.MM.DD ③

YY MM DD

プロフィール(Profile)

tkprf_han_default.xml ④

色

⑥ 赤 ⑥

⑥ 黒 ⑥

サイズ(MM)

⑦ 9 ⑦

⑦ 11 ⑦

⑦ 14 ⑦

パスワード

**** ⑧

⑧ パスワードを保存する

承認 キャンセル

tororo ⑨ ⑩ c:\hanko\shdata\shnindex.dat

図3 - 5 . 押印ダイアログ

項目	説明
承認印選択	承認印を選択します。承認はんこインデックスファイル(shnindex.dat)に登録されている印影名がリストされます。ここでは「鈴木」を選択します。 表示の順番はインデックスファイルshnindex.datに登録されている順番です。インデックスファイル shnindex.dat をメモ帳などで編集することによりリスト順番を変更することができます。
日付表示	日付を表示するか否か、表示する位置が選択できます。
日付フォーマット	このリストボックスで日付形式が選択できます。

	ト	
	プロファイル	プロファイルを設定します。プロファイルのデフォルトは tkprf_han_default.xml です。特に必要がなければ変更する必要はありません。
	承認情報	文書番号、承認者名、所属、承認日、承認項目を入力することができます。入力されたこれらの情報ははんこオブジェクト（OLE オブジェクト）に挿入されます。印影自体には表示されません。押印情報確認機能で表示できます。承認者名、所属、承認項目については、前回承認時に入力したもの（%windows%hanko.ini に保持）が表示されます。なお、この承認者名、所属、承認項目は編集（エディット）できます。承認日にはこのダイアログボックスが開いたときの日付と時刻が表示されます。
	色	赤または黒が選択できます。
	サイズ	大きさが 14 mm、19 mm、24 mm から選択できます。オブジェクト挿入後に大きさを手動で変えることもできます。
	承認パスワード	承認パスワードを入力します。「鈴木」のパスワードは TEST で登録されています。ここでは TEST を入力します。パスワードは大文字/小文字を区別しません。小文字で入力すると自動的に大文字に変換されます。また、パスワードを保存をチェックしておけば、次の押印時にはパスワードが自動的に挿入されます。
	ログイン名	Windows へのログインユーザ ID が表示されます。この ID は承認はんこオブジェクトへ押印時の情報として格納されます。
	インデックスファイルパス	インデックスファイルパスが表示されます。

日付フォーマット

日付フォーマット	例	備考
' YY.MM.DD	' 03.11.03	
' YY-MM-DD	' 03-11-03	
' YY/MM/DD	' 03/11/03	
YY.MM.DD	03.11.03	
YY-MM-DD	03-11-03	
YY/MM/DD	03/11/03	
YYYY.MM.DD	2003.11.03	
YYYY-MM-DD	2003-11-03	
YYYY/MM/DD	2003/11/03	
NN.MM.DD	15.11.03	和暦
NONE		日付表示無し
EMPTY		日付表示無し

押印ボタンをクリックすれば押印されます。(図 3-6)

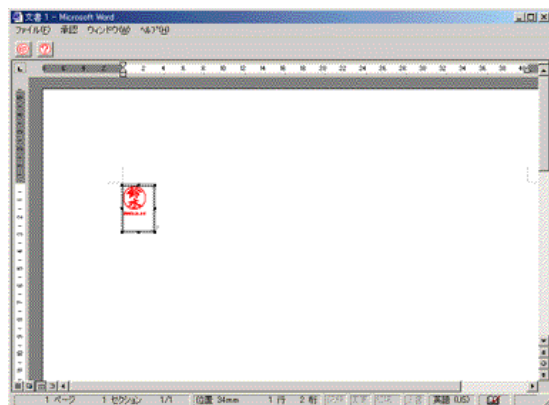


図 3-6 押印した状態ではオブジェクトはアクティブなまま。メニューは承認はんこのものになっている。

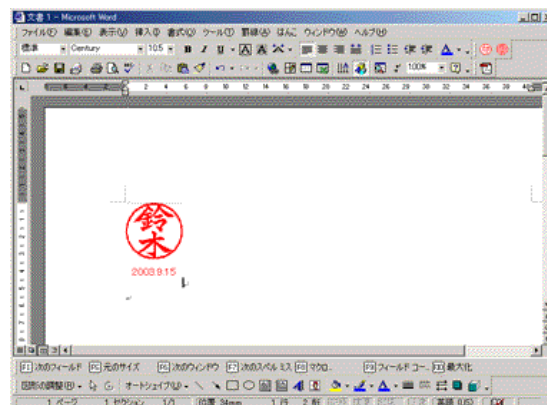


図 3-7 オブジェクト以外の部分をクリックすることにより承認はんこオブジェクトはアクティブでなくなりメニューはMS-Word のものに戻る。


承認はんこオブジェクト以外の部分をクリックすれば、MS-WORD[®] のメニュー[®] に戻ります。(図 3-7)

実習 2 .押印

承認はんこにサンプルとして標準添付されているインデックスファイル shnindex.dat を用いて、「鈴木」の承認印を押印します。

手順 1) MS-Word を起動します。

手順 2) 「3-1. 承認はんこオブジェクトの挿入」に従い、承認はんこオブジェクトを挿入します。(図 3-3)

手順 3) メニュー「承認」->「承認押印」を選択するか、ボタンをクリックしてください。

承認ダイアログが開きますので、承認印選択リストから「鈴木」を選択し、承認情報(文書番号、承認者名、所属、コメント)を適当に記入します。日付は自動的に入力されます。パスワードには"TEST"を入力します。(図 3-5)

手順 4) 押印ボタンをクリックします。

押印ダイアログは閉じ、押印されます。(図 3-6)

承認はんこオブジェクト以外の部分をクリックすれば、MS-WORD ` のメニュー` に戻ります。(図 3-7)

以上で押印についての説明は終わりです。問題なく押印できましたでしょうか。
次は、押印時に入力した承認情報を確認します。

手順 5) この文書を適当な名前で保存して、MS-WORD を一旦終了します。

ノート)この実習では手動でオブジェクトリストから承認はんこを選択するという少々煩雑な操作を行いました
が、MS-WORD,MS-EXCEL にはボタン一発で挿入できる便利なツールバーが用意されています。2-4.
Excel/Word ツールバー」を参照してください。

4.押印情報の確認

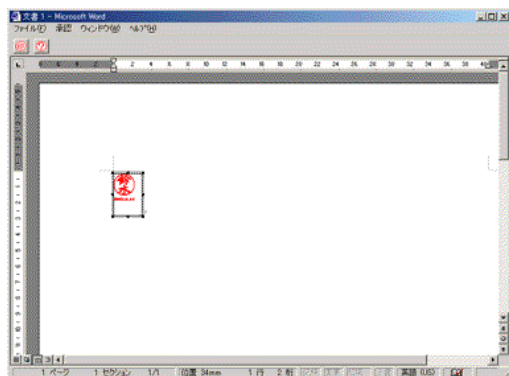


図 4-1 押印情報を確認するためには承認はんこオブジェクトをアクティブにする必要があります。

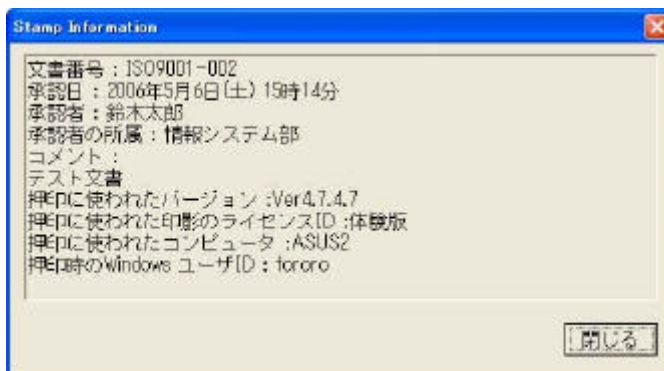



図 4-2 押印情報が表示されます。

承認はんこオブジェクトには押印情報が保持されています。この押印情報を確認する機能が承認はんこには備わっています。

手順 1) 承認はんこオブジェクトをダブルクリックし、アクティブにします。(図 4-1)

手順 2) メニュー「承認」->「承認確認」を選択するかボタン  をクリックします。
押印情報確認ダイアログが開き、押印時に入力した情報が確認できます。(図 4-2)

また、押印に使われたコンピュータの名前、押印時の Windows ログインユーザ ID も確認できます。

ノート承認はんこオブジェクトを他の文書からコピーしてきても、文書番号が違うので不正が見抜くことができます。また、押印に使われた承認はんこのバージョン、ライセンス ID もオブジェクトに保持され、確認できますので正規ライセンスを購入していないユーザによる押印と区別ができ、セキュリティは守られます。なお、ライセンス ID には企業名を設定することができます。


実習 3 .押印情報の確認

実習 2 で挿入した承認はんこオブジェクトの承認情報を確認します。

手順 0) 実習 2 で保管した WORD 文書を開きます。

手順 1) はんこオブジェクトをダブルクリックします。承認印オブジェクトがアクティブになります。(図 4-1)

メニュー及びツールバーボタンは承認はんこのものに入れ替わっています。

手順 2) メニュー「承認」->「承認確認」を選択するかボタン  をクリックします。

承認確認ダイアログが開き、実習 2 で挿入した承認情報が確認できます。(図 4-2)

手順 3) ボタン「Close」をクリックし、押印情報ダイアログを閉じ、ワードを終了します。

5. インデックスファイル shnindex.dat

承認はんこの印影はインデックスファイル デフォルトファイル名 shnindex.dat と印影ファイル(***.han)とで管理されます。

参考)このインデックスファイルはユーザ毎に作成することもできますし、グループ毎に作成することもできます。つまり 1ユーザ 1インデックスファイルでも、複数ユーザを1つのインデックスファイルにまとめて管理することもできます。インデックスファイルは INI 形式のテキストファイルです。メモ帳などで開いて内容を確認することができます。

```
[MAIN]
Number=4
Hanko0000=社外秘
Hanko0001=鈴木
Hanko0002=鈴木(犬足跡)
Hanko0003=鈴木(犬承認印)

[鈴木]
FileName=00195.han
Password=TOHQ[I
Data=<Profile>tkprf_han_default.xml</Profile><HanKey>WILD347</HanKey>

[鈴木(日付)]
FileName=00195.han
Password=TOHQ[I
Data=<Profile>tkprf_han_default.xml</Profile><HanKey>WILD347</HanKey>

[鈴木(犬足跡)]
FileName=dogSuzuki.han
Password=TOHQ[I
Data=<Profile>tkprf_han_default.xml</Profile><HanKey>PERSONAL</HanKey>

[鈴木(犬承認印)]
FileName=dogSuzukiDate.han
Password=TOHQ[I
Data=<Profile>tkprf_han_default.xml</Profile><HanKey>PERSONAL</HanKey>

[社外秘]
FileName=社外秘.han
Password=TOHQ[I
Data=<Profile>tkprf_han_default.xml</Profile><HanKey>PERSONAL</HanKey>
```

このファイルはテキストファイルですのでメモ帳などで開くことはできますが編集はできません。承認はんこ管理ツール shankmgr.exe を用いる以外の方法でこのファイルを書き換えますとセキュリティエラーとなります。

6 .承認印の登録、削除、修正

承認印の登録、削除、修正は承認はんこ管理ツール(shankmgr.exe) で行います。

6-1. 管理ツール 承認はんこマネージャ shankmgr.exe の起動

管理ツール承認はんこマネージャ shankmgr.exe の起動手順について説明します。

手順1) 承認はんこマネージャ shankmgr.exe をエクスプローラ上でダブルクリックするなどして起動します。(図6-1)



図 6-1 承認はんこ管理ツール

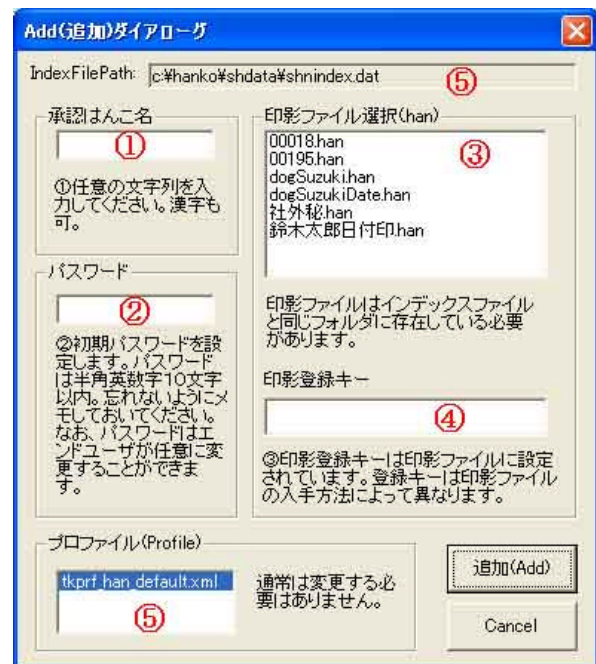


図 6-2 追加ダイアログ

6-2 .承認印の追加

承認印を新たに登録するにはボタン「追加(Add)」をクリックします。

ボタン「追加(Add)」をクリックすると追加ダイアログボックスが開きます。(図6-2)

各エディットボックスについて説明します。

	エディットボックス	説明
	承認はんこ名	任意の名前を入力します。漢字も可能です。
	パスワード	押印時に入力するパスワードを設定します。アルファベット半角で設定します。文字数に制限はありません。
	印影ファイル選択	印影ファイルを選択します。印影ファイルはインデックスファイルと同じフォルダに存在する必要があります。
	印影登録キー	印影ファイルごとに印影登録キーが設定されています。選択した印影ファイルの印影登録キーを入力します。
	プロファイル	プロファイルを設定します。プロファイルのデフォルトはtkprf_han_default.xml です。特に必要がなければ変更する必要はありません。
	インデックスファイル	インデックスファイルが表示されます。



図 6-3 削除ボタン

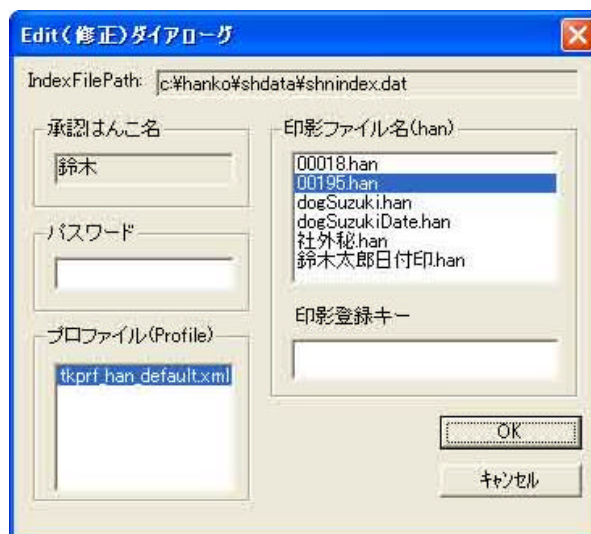


図 6-4 修正ダイアログ

6-3. 承認印の削除

削除する承認印を選択します。

ボタン[削除]をクリックします。(図 6 - 3)

6-4 .承認印の修正

承認印を修正するには、修正する印名を選択して、ボタン「修正(Edit)」をクリックします。修正ダイアログボックスが開きます。(図 6 - 4)

実習 4 自分の名前の登録

実習 2、3 では承認はんこに添付されているサンプルのインデックスファイル shnindex.dat を用いました。このインデックスファイルには既に「鈴木」の承認印が登録されています。次に、このインデックスファイルに自分の名前の承認印を追加します。以下の説明では、名前を「青山」と仮定していますが、自分の名前に置き換えて操作して下さい。

自分の名前の印影ファイルを探す

インターネットが利用できる方はとろろこんぶシステム工房のホームページ上の印影リストページを開いてみてください。2006年1月時点で1800の姓に対する印影ファイルが存在しています。

http://homepage3.nifty.com/tororokonbu/shanko_hanfile_list.html

印影ファイルは有料ですが、体験版が用意されていますので次の URL からダウンロードしてください。

http://homepage3.nifty.com/tororokonbu/shanko_hanfile_download.html

印影「青山」の管理番号が 00018 だということを確認します。00018.han が印影「青山」の印影ファイルです。このファイル 00018.han は承認はんこをインストールするとサンプルとして存在しています。これを登録する例を説明いたします。

承認はんこ管理ツールがインストールされているパソコン上で操作します。

手順 0) 自分の名前に対応する印影ファイル (ここでは 00018.han) をインデックスファイル shnindex.dat と同じフォルダにコピーしておきます。

手順 1) 承認はんこ管理ツール shankmgr.exe をダブルクリックするなどして、承認はんこ管理ツールを起動します。(図 6-1)

手順 2) ボタン「追加(Add)」をクリックします。
追加ダイアログが開きます。(図 6-2)

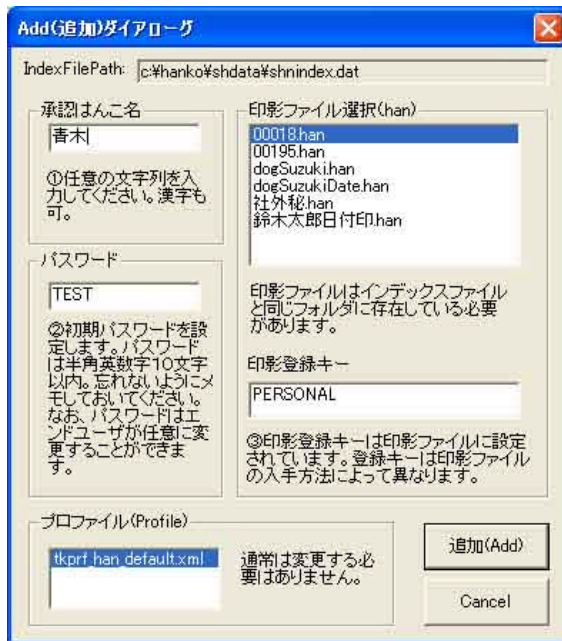


図 6-5 追加ダイアログ 「青山」を登録している。



図 6-6 「青山」が登録され、リストに存在している。

手順4) 次のように入力します。(図 6-5)
次のように入力します。

承認はんこ名：青山
パスワード：TEST
印影ファイル選択：00018.han
印影登録キー：PERSONAL

パスワードは押印時に入力するパスワードで任意に設定できます。忘れないようにメモしておいてください。また、パスワードはエンドユーザが任意に変更できます。ここでは TEST と入力します。

印影登録キーは印影ファイルにセットされているキーで、印影ファイルに添付されている password.txt あるいは readme.txt に記載されています。

手順5) 「Add(追加)」ボタンをクリックします。
これで「青山」の承認印が登録されました。(図 6-6)

ノート) 承認はんこ名は重複登録はできません。また、承認はんこ名前後の半角スペース及び全角スペースは自動的に削除されます。

手順6) 実習2, 3を参考に押印し、青山が押印できることを確認してください。

7. 印影ファイルのチェック

印影ファイルの期限チェックは管理ツール shankmgr.exe で行います。



図 7-1 管理ツールのボタン「チェック」 図 7-2 印影チェックダイアログが開く。
をクリックする。

手順 1) 管理ツール shankmgr.exe を起動します。(図 7 - 1)

手順 2) 管理ツールのボタンを「チェック」をクリックします。
印影チェックダイアログが開きます。(図 7 - 2)

手順 3) ボタン「Ref」を用いてチェックする印影ファイルを選択します。(図 7 - 3)

手順 4) ボタン「チェック実行」をクリックすれば印影ファイルの押印期限、ライセンス ID
が表示されます。(図 7 - 4)

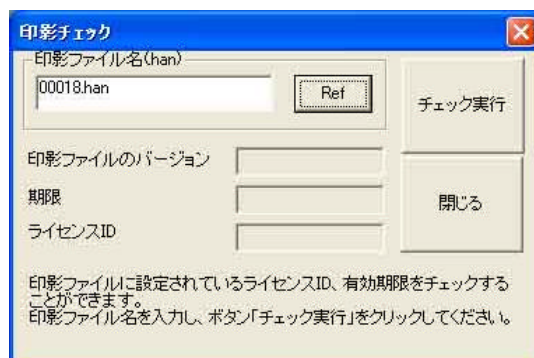


図 7-3 チェックする印影ファイル名を設定する。

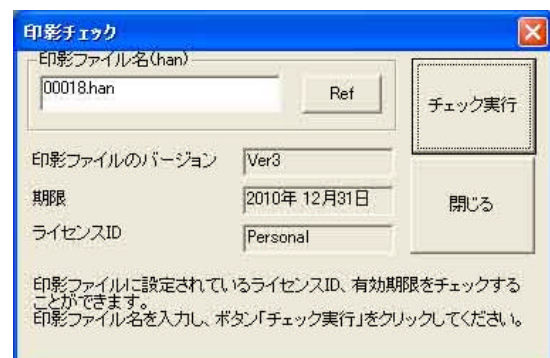


図 7-4 ボタン「チェック実行」をクリックすれば印影ファイルの押印期限とライセンス ID
が表示される。

8.パスワードの変更

パスワードの変更は承認はんこ shanko.exe で行います。

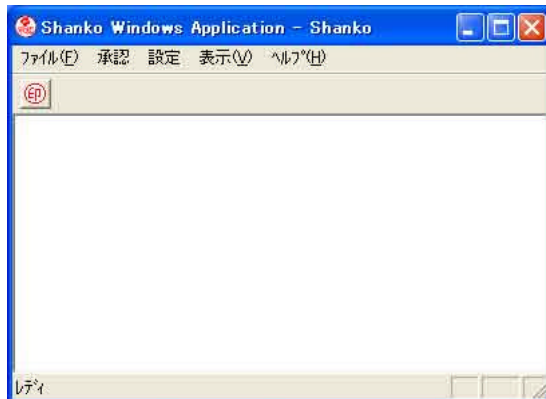


図 8-1 shanko.exe を起動する。



図 8-2 メニュー [設定] [パスワード変更 ...]を選択します。

パスワード変更手順は次の通りです。

手順 1) shanko.exe を起動します。(図 8-1)

手順 2) メニュー [設定] [パスワードの変更 ...]を選択します。(図 8-2)
パスワード変更ダイアログが開きます。

手順 3) 承認印選択リストボックスでパスワードを変更する承認印を選択し、現在のパスワードと新しいパスワードを入力します。

注 新しいパスワードは2つのエディットボックスに同じものを入力します。ミスタイプを防ぐためです。任意の英数字で文字数に制限はありません。

手順 4) OK ボタンをクリックします。
「パスワードを変更しました」が表示されればパスワード変更は完了です。(図 8-5)

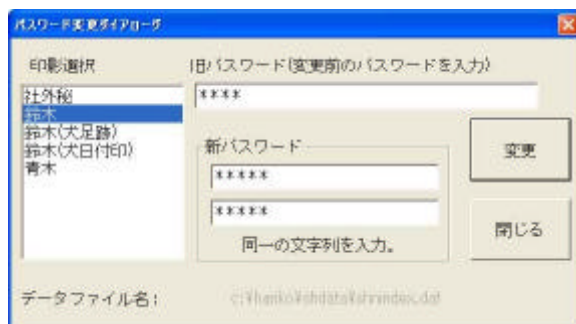


図 8-3 パスワード変更ダイアログ

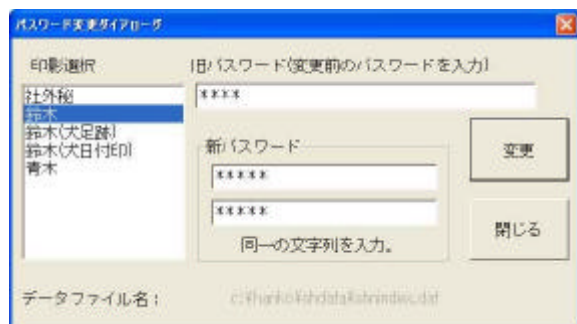


図 8-4 承認印を選択し、現在のパスワードと新しいパスワードを入力



図 8-5 パスワードが変更されるとこのメッセージが表示される。

実習 6 パスワードの変更

「鈴木」のパスワードを変更します。
現在のパスワードには **TEST** を入力します。
新しいパスワードには任意の英数字を入力します。

9. プロファイル

日付を表示する場合、以前のバージョンではフォント及びサイズは固定で変更することができませんでした。これらプログラム中に固定値として存在していたフォント情報をプロファイルとして外出しにし、ユーザが任意に修正できるようにしました。

このプロファイル（デフォルトファイル名 tkprf_han_default.xml）はインデックスファイル shanindex.dat と同じフォルダ（デフォルトでは c:\hanko）に置いてください。

プロファイルは XML ファイルで、XML エディタで修正することができます。XML エディタが無い場合はメモ帳などのテキストエディタでも編集することが出来ます。

なお、プロファイルは複数用意することができ、承認はんこ毎に選択できます。

プロファイルの構造

座標は左上が(0,0)でサイズは 128X128(日付を下に表示する場合は 128X196)です。

```
<?xml version="1.0" encoding="ISO-2022-JP" ?>
<Profile>
  <Date><Font><Name>Arial</Name><Size>25</Size></Font></Date>
</Profile>
```

			概要	デフォルト値
Date	Font	Name	日付のフォント名	Arial
		Size	日付の文字サイズ	25

プロファイルはインターネットエクスプローラ Ver6 で表示できます。

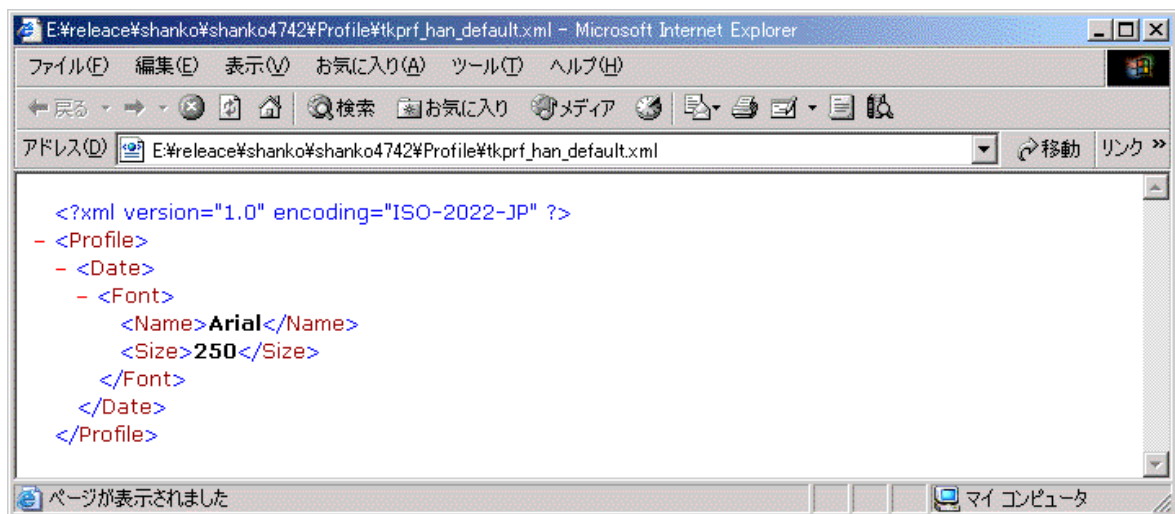


図 メモ帳で表示するよりは IE で表示したほうが見やすい。

プロフィールの選択

プロフィールは承認印毎に選択できます。プロフィールの選択は承認はんこ管理ツール(承認はんこマネージャ shankmgr.exe)で行います。承認はんこマネージャを起動し、追加/修正ダイアログではんこを追加/修正する際に指定します。

右図の例は追加ダイアログの例です。

プロフィールのファイル名は承認印登録時に選択します。

The image shows a Windows-style dialog box titled "Add (追加) ダイアログ". It contains several input fields and lists for adding a new stamp profile.

- IndexFilePath:** A text field containing the path "C:\Program Files\TororoKonbu\shanko\shdata\shninde".
- 印影名 (Stamp Name):** An empty text field with a note below it: "①任意の文字列を入力してください。漢字も可。"
- 印影ファイル名 (han):** A list box containing several files: "00018.han", "00195.han", "dogSuzuki.han", "dogSuzukiDate.han", "社外秘.han", and "鈴木太郎日付印.han".
- パスワード:** An empty text field with a note below it: "②初期パスワードを設定します。パスワードは半角英数字10文字以内。忘れないようにメモしておいてください。なお、パスワードはエンドユーザが任意に変更することができます。"
- 印影登録キー:** An empty text field with a note below it: "③印影登録キーは印影ファイルに設定されているものです。体験版印影ファイルの場合は登録キーは FREE になります。"
- プロフィール (Profile):** A section with a text field containing "tkprf.han.default.xml" and a note: "通常は変更する必要はありません。". This section is highlighted with a blue border in the original image.
- Buttons:** "追加 (Add)" and "Cancel" buttons are located at the bottom right.

10. ログの出力

押印すると押印履歴がログファイルに出力されます。
 文書番号、押印日、押印時間、承認者、所属、コメントを出力します。
 ログファイル名はデフォルトでは C:\hanko\shdata\hanko.log です。
 ログの出力形式は CSV 形式です。デリミタはパイプ（縦棒）とカンマが選択できます。

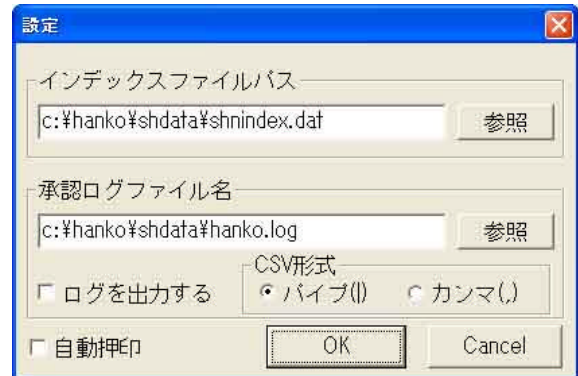


図 10-1 shanko.exe を起動し、メニュー[設定] -> [ファイル設定...]を選択します。 図 10-2 ログの出力先、デリミタを設定します。

ログ出力の設定

shanko.exe を起動し、メニュー[設定] -> [ファイル設定...]を選択します。(図 10-1)

ログには押印時に押印ダイアログに入力した情報が出力されます。

文書番号, 押印日, 押印時刻, 押印者の氏名, 押印者の所属, コメント, Windows ログインユーザ名, コンピュータ名

パイプ形式のログ例

ISO9000-001|1999/5/16|7:58|佐藤|情報システム部|コメント No20|Tororo|DELLG1|

C S V (カンマ) 形式のログ例

ISO9000-001,1999/5/16,8:7,鈴木,情報システム部,コメント No20, Tororo,DELLG1,

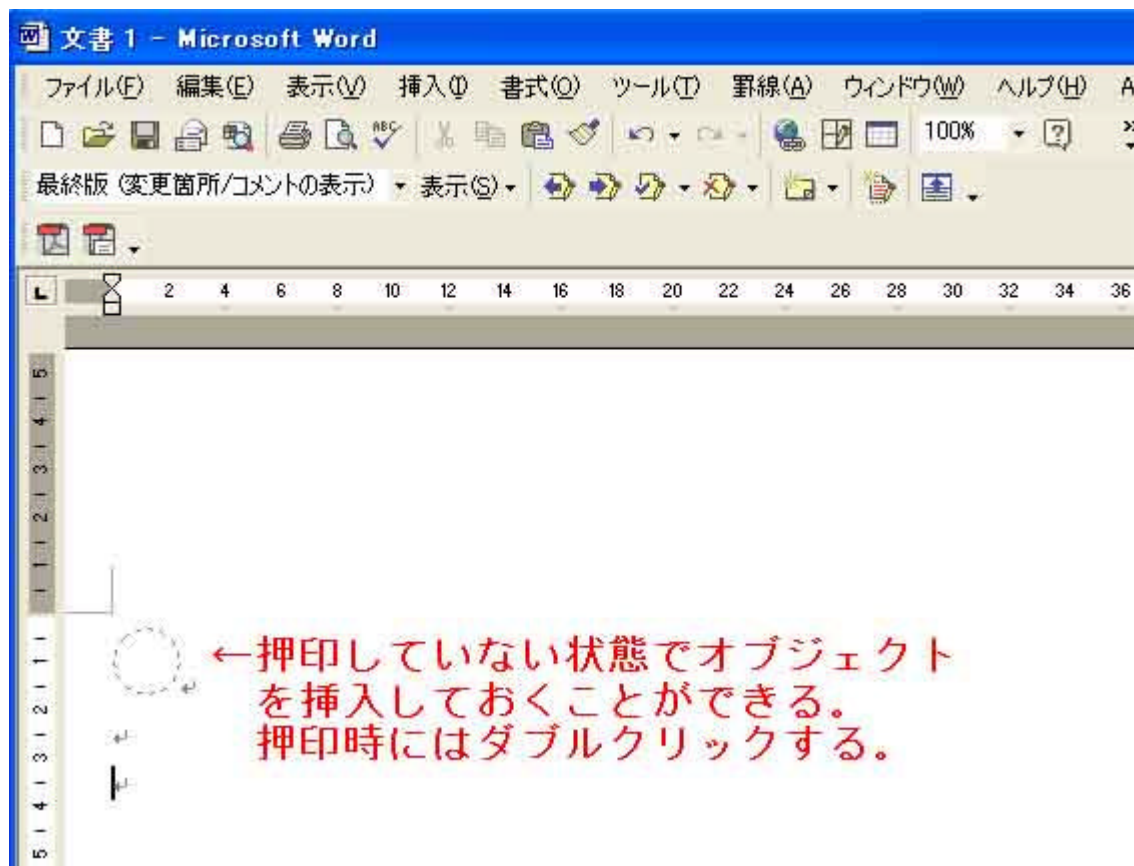
ログファイルを出力するには[Output Log]にチェックを付けます。

ログファイル名を変更するにはボタン[Ref]をクリックします。

Ver5.6.1.5 からログに押印時の Windows ログインユーザ及びコンピュータ名が出力されるようになりました。

11. 未押印オブジェクト

承認はんこは押印しない状態であらかじめワードなどで作成したフォーム（様式）に埋め込んでおき、押印の際にはこの埋め込んでおいた承認はんこをダブルクリックするという方法があります。



12. 自動押印

押印ダイアログを表示せずに押印できます。

自動押印機能を使用するにはパスワード保存機能を用い、あらかじめパスワードを設定しておきます。

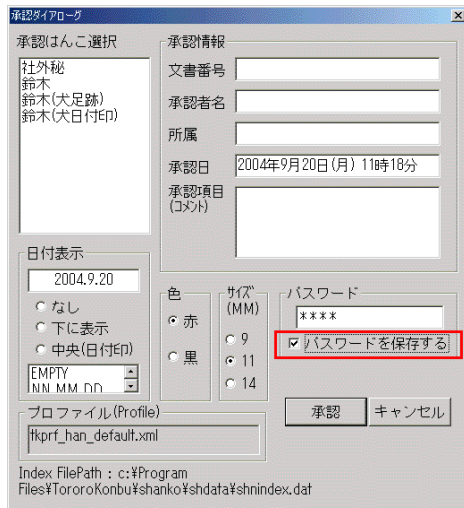


図 12-1 自動押印するためにはあらかじめパスワードを保持しておく必要があります。押印ダイアログ中の「パスワードを保存する」にチェックをし、1度押印しておきましょう。

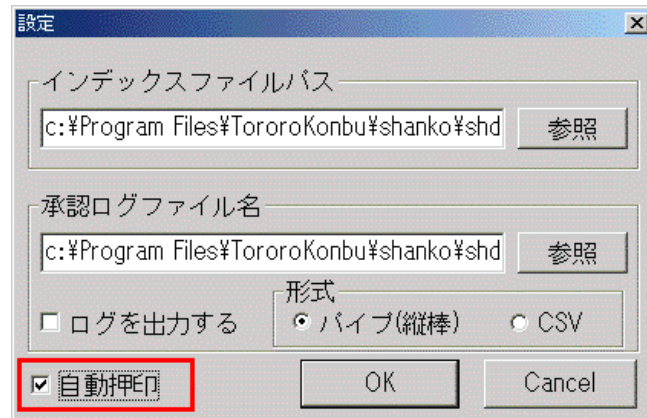


図 12-2 自動押印の設定

承認はんこを起動し、メニュー「設定」「ファイル設定」を選択します。自動押印にチェックをし、OK ボタンをクリックして設定ダイアログを閉じれば、自動押印設定は終了です。

12-1. 自動押印の設定

承認はんこ shanko.exe が起動された状態で、メニュー[設定:ファイル設定]をクリックします。

自動押印チェックボックスにチェックを入れれば、承認ダイアログの表示なしに押印されます。

注意)自動押印されるのはパスワードの保存機能を用いてパスワードが保存されている場合のみです。パスワードが保存されていない、パスワードが一致しない場合は承認ダイアログが開きます。

12-2. 自動押印の解除

承認はんこ が起動された状態で、メニュー[設定:ファイル設定]をクリックします。

自動押印チェックボックスのチェックをはずせば、承認ダイアログが表示されるようになります。

13. 押印ダイアログの承認はんこ選択リストの順番

以前のバージョンでは、承認ダイアログ中の承認はんこ選択リストがソーティングされていなかったにもかかわらず、管理ツールではソーティングされていました。
表示順序に差異が生じ、場合によっては使いにくい面がありました。
バージョン 4.7.4.6a では管理ツールもソーティングしないように変更しました。

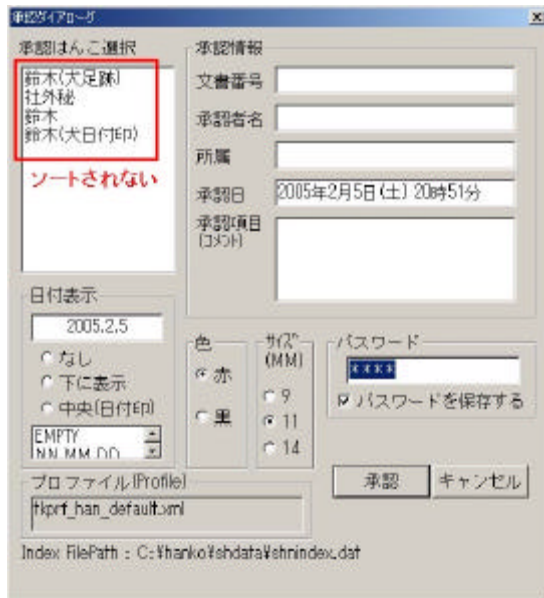


図 13-1 承認はんこ shanko.exe
承認ダイアログ中の承認はんこ選択リストはソ
ーティングされない。

[MAIN]
Number=4
Hanko0000=鈴木(犬足跡)
Hanko0001=社外秘
Hanko0002=鈴木
Hanko0003=鈴木(犬承認印)

図 7-2 インデックスファイル
選択リストの順番は インデックスファ
イルの MAIN セクションで決まる。

承認ダイアログ中の承認はんこ選択リスト及び管理ツール shankmgr.exe Ver4.7.4.6 の選択リス
トの順番は インデックスファイルの MAIN セクションで決まります。

従って、リスト中の表示順番を変更したい場合は、インデックスファイルの MAIN セクション
をメモ帳などで編集すれば、表示順番を買えることができます。

例 社外秘をリストの最後にする場合

[MAIN]
Number=4
Hanko0000=鈴木(犬足跡)
Hanko0003=社外秘
Hanko0002=鈴木
Hanko0001=鈴木(犬承認印)

Appendix A 印影データフォルダーのセキュリティ設定

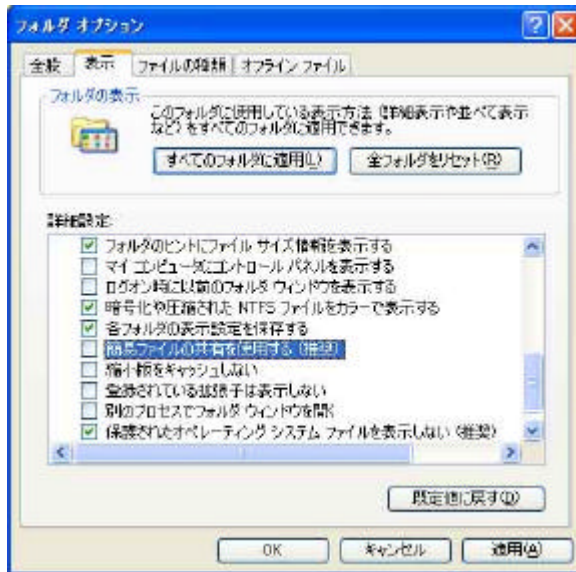


図 A-1 簡易ファイルの共有設定を解除する



図 A-2 ユーザに書き込み権限を与える

承認はんこを使用するユーザが印影データフォルダー（デフォルト c:\hanko\shdata）の書き込み権限を持たないとパスワードの変更や管理ツールの利用が出来ないことがあります。

印影データフォルダー（デフォルト c:\hanko\shdata）のセキュリティ設定を変更し、インデックスファイルの書き込み権限を承認はんこユーザに与える方法をWindowsXP を例に説明します。

手順 0) 管理権限のあるユーザでWindows にログインする。

手順 1) エクスプローラ上で印影データフォルダー（デフォルト c:\hanko\shdata）を選択し、メニュー [ツール:フォルダ オプション] を選択し、タブ[表示]を選ぶ。(図 A-1)

手順 2) 詳細設定リストボックス中の 簡易ファイルの共有を使用する (推奨) のチェックをはずす。(図 A-1)

手順 3) 印影データフォルダー（デフォルト c:\hanko\shdata）をマウス右クリックし、[プロパティ]を選択し、タブ[プロパティ]を選択する。(図 A-2)

手順 4) 承認はんこを使用するユーザへ「フルコントロール」を与える。(図 A-2)

以上で設定は終了です。

おわり
とろろこんぶシステム工房 2006-5-16